夢 ～努力は未来を拓く～

弥富北中学校２年生
学年通信　第１０号
２０１７．９．２５

学校祭　第１弾！　体育祭の部

今年の学校祭は天候にも恵まれ、多くの感動とともに２日間の全日程が終了しました。６月から準備して取り組んできました。２学期に入ると毎日のようにグランド、体育館、音楽室、教室と学校中を走りまわり、休憩もそこそこに熱心に練習に励みました。合唱、演技、応援、ギネス・・・どれも、仲間と共に汗を流すなかで、完成度を高めること、記録を伸ばすことに必死なって取り組んだ２０日間でした。２度目の学校祭も、ひとりひとりが集団の中で、大きく成長したことを感じさせてくれました。リーダーたちの感想を紹介します。

【A組】

僕は今回２度目の学校祭をやって全学年の団結を実感しました。夏休みが終わってから、ほぼ毎日演技やギネスの練習をして、昨年より練習時間が短い中、各リーダーを中心に仕上げていき、本番に間に合いました。４クラスという他のブロックより多い人数で、なかなかまとまらないと思って不安だったけど、先輩の指示どおりに動くようになってからは、まとまってきました。僕はギネスのリーダーをやりました。はじめはなかなか上手くいかず、やりたくないときもあったけど、みんながギネス更新を目指してがんばって練習をしました。本番では記録更新ができてよかったです。

【B組】

はじめて学校祭リーダーをつとめました。自分たちだけで応援をつくることはとても大変でした。でも、それより大変だったのは、ブロック全体をまとめることでした。本番では、ブロック全員が声を出し、今までの練習で一番の応援ができたと思います。ブロック練習のときに先生や先輩がよく言っていた言葉が「最強より最高」です。強いことは大事だけど、それより最高に楽しくなくちゃダメなんだということを学びました。このことを無駄にせず、学校生活や部活などで生かしていきたいです。

【C組】

１分に満たない一瞬とも言えてしまうような短い時間の応援のために、何時間、何日もかけた。黄ブロックを背負って詰め込んだ「１位を獲りたい、総合優勝につなげたい。」という強い想いで構成に入れた“WIN”の文字。声を張りあげても、指示が通らなくて、練習がうまくいかない日もたくさんあった。１分３０秒からなかなか１分に近づけることができなくて嫌になり、やらなければよかったと思うこともあった。本番５９秒。終わった瞬間の感動は忘れられない。結果は２位で悔しいけど、黄ブロックみんなでつくりあげた応援に悔いはない。“WIN”頑張ってつくったその文字を“勝利”を手にすることはできなかったけれど、ブロックのために精一杯頑張ることの喜びと達成感を得ることができた。充実した体育祭にすることができて、演技リーダーをやることができてよかった。

【D組】

僕は今年初めて演技リーダーをやりましたが、リーダーは勢いだけでやれるだろうと舐めていました。僕たち２年生の演技リーダーが中心となってやる応援と、弥北ギネス、合唱、ブロック演技と並行してやらなければならなかったので、とても忙しく、クラスの意見をまとめることもできませんでした。先生に何度も指摘され、不安で押しつぶされそうになったこともありました。本番に近づくにつれ、みんなの熱が伝わって自分がひっぱっていかなければと思い、とても責任感を感じました。僕はリーダーを初体験して、不安や心配がとても多かったのですが、仲間のおかげで、責任を果たすことができました。